

コニカミノルタ、複合機使いRPA 事務処理代行

2018年3月22日 17:29

コニカミノルタは22日、オフィスでの単純作業を自動化する「ロボティクス・プロセス・オートメーション（RPA）」ソフトを活用し、事務処理を代行するサービスを始めたと発表した。人手によるデータ入力作業をソフトで代替し、業務効率を高める。同社の複合機などを活用し、「働き方変革」を進める企業から受注を目指す。

22日から国内で順次発売する。まずオフィスの伝票や紙書類を複合機などで読み取り、コニカミノルタのクラウドに送る。その後、人工知能（AI）を活用した光学式文字読み取り装置（OCR）エンジンで文字を認識し、RPAでデータ入力する。人が目視でも確認し、誤入力を極力避ける。

独SAPの中堅・中小企業向け統合基幹業務システム（ERP）とのデータ接続で動作確認しており、同システムにデータを格納できる。コニカミノルタが社内外で実施した実証実験では請求処理にかかっていた工数を8割以上削減できたという。

価格は紙1枚当たり100円。新たにサーバーを設置したり、ソフトを購入したりする必要はない。

関連キーワード: コニカミノルタ RPA 複合機使い SAP